

# 観光地を盛り上げるイベントで 宿泊者増加を目指す

石和温泉旅館協同組合(河野佳一郎理事長  
組合員34社)は、純和風旅館から近代的なホテルまで、顧客の嗜好やニーズにあわせた宿泊プランを提供できる温泉観光地のホテル旅館協同組合として、今年で50年を迎えた。

石和温泉は、昭和36年の冬に石和町内のぶどう園から湧いた高温の湯が付近の川に流れ出し、近隣の農家等の農閑期の湯治のための「青空温泉」



往年の名車・希少価値の高い旧車が集合

として活況を呈した。その後温泉地として発展、温泉旅館等が増える中で昭和42年に組合が設立された。

以来、組合では、宿泊の紹介だけでなく、石和温泉の共同宣伝、行政とタイアップした観光事業の推進、周辺の観光資源の開発など幅広い事業を展開してきた。

6月17日から2日間開催された「石和温泉郷クラシックカーフェスティバル」は今年で第7回目となり、国内外の往年の名車300台余りが集結し、全国のオールドカーマニアからの注目のイベントとなりつつある。また、7月20日～8月20日までは組合が中心となり実施する「石和温泉連夜花火」が行われ、8月21日の石和温泉花火大会をグランドフィナーレとして真夏のイベントは行われる。

河野理事長は、「組合で行うイベント・各種企画



色とりどりの花火で飾る石和の夜

事業は石和温泉郷の集客に効果的に結びついている。さらに、日本一の桃・ぶどう郷、笛吹市として農村資源や多くの歴史資源等も活用して、県内外へのPR活動をより活発に行うとともに、3年後に控えた東京オリンピック・パラリンピックに向け、全組合員 Made in JAPANのおもてなしを心がけ、外国人観光客の受入体制の整備に努めていきたい。」と語る。

詳しいイベント内容、宿泊等問い合わせは、

●Tel 055-262-3626(代)

●<http://www.isawaonsen.or.jp/>

組合事務局まで